

第30期 中間報告書



WDBグループは、
研究人材が活躍する場を創り、
研究現場に貢献します。



WDBホールディングス株式会社

CONTENTS

1	企業理念	9	事業の方向性
2	株主の皆様へ	10	事業紹介
3	財務ハイライト	12	トピックス
5	中間連結財務諸表	13	会社の概況
7	決算総括	14	株式状況

埋もれた価値を発掘していく会社でありたい

私たちWDBグループは、埋もれている価値を見出し、そこに光を当てて新たな価値を付加していくことができる会社であると自負しています。人材サービスにおいても理学系研究職という新しい市場を開拓しました。今、新たに取り組んでいる新規事業についても同じ考え方です。

マネジメントの限界に達しているが、隠された価値のある会社に対して、当社グループの人材とマネジメントの手法を投入することによって企業価値を高めていくことを考えています。その企業を経営していく人材は、WDB株式会社に支店運営等を行っていた人材です。経営者としての実績はないが、マネジメントの経験を積んだ者が、企業経営にチャレンジする。また、その企業で実務を行っていく人材には、派遣社員を卒業して正社員になっていく者たちも含まれています。WDBグループのマネジメントの仕組みが、経験の浅い者たちの経営や実務の支援を行うことになり、結果として外部から見れば、「未経験者」が事業を行っているように見えるかもしれません。私たちは、隠された価値を持つ会社と、まだまだ可能性を引き出せていない人材を「マネジメントの仕組み」でサポートし、その価値を発揮させることのできる会社を目指しています。埋もれた価値を発掘し、新たな価値を付加していく。WDBグループは、その仕組みを持つ会社でありたいと考えています。

事業の目的

事業を通じて尊敬される企業を目指したい。

- ・革新性
- ・経営の質
- ・従業員の才能
- ・製品及びサービスの品質
- ・長期投資の価値
- ・財務の健全性
- ・社会的責任
- ・企業資産の活用

関わる人間すべてを幸福にできる企業。決してたやすいことではありません。だからこそ、私たちは挑戦し続けたいのです。

果たすべき責任

企業には以下の果たすべき責任があります。

基本責任…資本に対して一定の利益をあげること

義務責任…反社会的行為をしない、脱法行為をしない

支援責任…企業の理念や良識に従い、社会に貢献する

私たちWDBグループの果たすべき責任は、

- ・働きがいのある職場を多く提供すること
- ・事業を通じて喜びを感じ成長し、自己実現する人々を多く輩出すること

派遣就労によるキャリアの断絶の問題、ポストク問題、日本の産業競争力低下の問題。それぞれに取り組む、事業化していくことで、基本責任、義務責任、支援責任を果たしていきます。

ビジョン

お客様に対するビジョン ■ 仕事ではなく「価値」の提供

自分たちが関わった仕事に対して「何をしたか」ではなく、「どんな役に立てるのか」「どんな価値を提供できるのか」と考え、対価に対して納得いただけるように真剣に取り組めます。

私たちの会社を通じて働く人々たちへのビジョン ■ 「働く喜び」の提供

仕事の内容、報酬、ライフスタイルにあった働き方、自己の成長など様々な要素から、働く人それぞれに「働く喜び」を提供できる会社でありたい。人間にとって大切な「働く」ということに誠実に向き合い、多くの人の「働く喜び」を重ねながら新たな事業につなげることが私たちの使命であると考えます。

私たち自身に対するビジョン ■ 誇りをもって働ける会社

WDBグループの一員として果たすべき社会的責任を認識し、その一部を担っているのは自分だと思える強い意識。自ら積み上げてきた努力や実績でさえ状況に応じてクラッシュ&ビルドする勇気と覚悟。その気概こそWDBグループの社員たちの誇りであり、グループを牽引する原動力なのです。

株主に対するビジョン ■ 「価値」の還元

株主、派遣スタッフ、グループ社員、取引先、地域社会など、すべてのステークホルダーに対する経営責任。企業としての利益追求はもとより、新たな雇用創出や高付加価値サービスの提供、企業としての発展という様々な「WDBグループの価値」を、企業価値、即ち時価総額を高めることと、配当を通して株主に還元することも重要な使命と考えています。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

第30期中間報告書（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

第30期中間期の連結業績は、売上高13,400百万円（前年同期比8.3%増）、営業利益1,142百万円（前年同期比36.2%増）、経常利益1,149百万円（前年同期比35.8%増）、中間純利益は638百万円（前年同期比54.5%増）の増収増益となりました。第29期より進めておりました営業活動の効率化、各種業務の効率化が今期に入りまして実を結びつつあります。

当社グループは、主として、化学・バイオ・工学といった理工学系研究職人材サービス事業を行う人材サービス事業、医薬品開発に伴う支援業務であるCRO事業、有機化学品の受託製造、合成実験代行、海水生物の養殖、生態影響試験、射出成形におけるガスアシスト技術を活かした装置の開発・製造事業等を行う研究開発・製造事業の3つの事業領域と、グループ全体の事業を支援するグループ戦略補助事業で構成されており、「研究人材が活躍する場を創り、研究現場に貢献します」という方針のもと、「研究」領域に特化した付加価値の高い事業を展開しております。

当中間期は、理学系研究職人材サービス事業（WDB株式会社）において、平成26年6月に東大前支店、京大担当支店、阪大担当支店の3拠点を開設し、大学への営業を強化するとともに、北海道エリアでの営業強化の為、同年8月に旭川オフィス、帯広オフィス、同年9月に釧路オフィスを開設し、全国59拠点体制と致しました。

研究開発・製造事業につきましては、当社グループにとりまして15社目の子会社であり、8社目のM&Aとなります株式会社カケンジェネックスを完全子会社化し、工学分野に

おける研究開発・製造事業への進出を果たしたほか、海水生物の養殖事業、生態影響試験等を行っております、株式会社WDB環境バイオ研究所において、国内初となる魚類急性毒性試験に関する認証規格であるISO/IEC17025：2005を取得し、海水生物を対象とした認定試験所として新たに出発致しました。

当社グループは、2021年3月に連結売上高1,000億円（人材サービス事業で850億円、その他事業で150億円）、経常利益100億円、純資産300億円を目指しており、今後も中核である理工学系研究職人材サービス事業を拡大させていく他、CRO事業、研究開発製造事業につきましても、現在の子会社の業容拡大、またシナジー効果のあるM&Aを積極的に進めて参りたいと考えております。

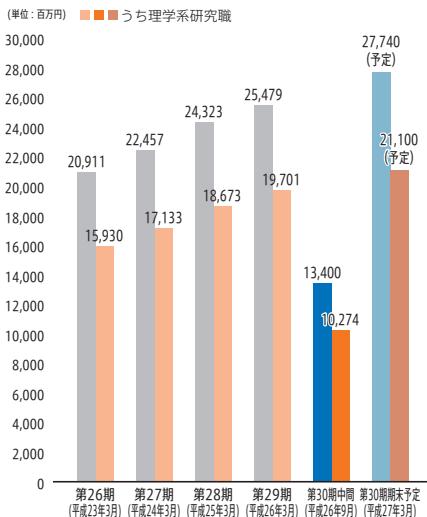
最後に、当社は来期、1985年7月の創業より30年という節目を迎えます。ここまで事業を継続、発展させてこられましたのも、ひとえに株主の皆様からのひとかたならぬご支援の賜物であると、グループ一同、厚く御礼申し上げますとともに、これからも業容の拡大、企業価値の増大を目指し、株主の皆様には安定的な配当を継続していく所存です。

今後とも株主の皆様からの一層のご支援、ご鞭撻を賜ります様、よろしく願い申し上げます。

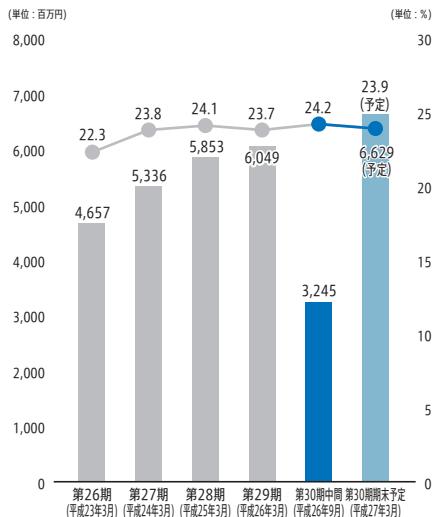


WDBグループ代表
中野 敏光

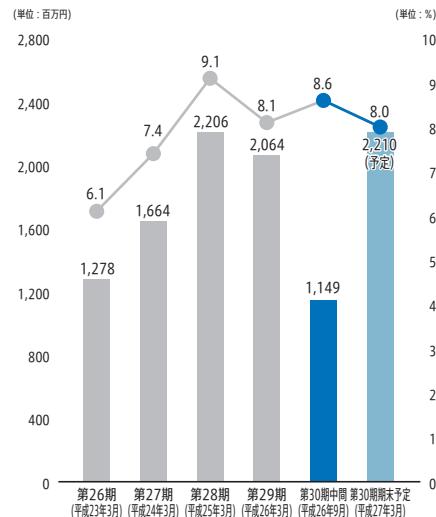
売上高



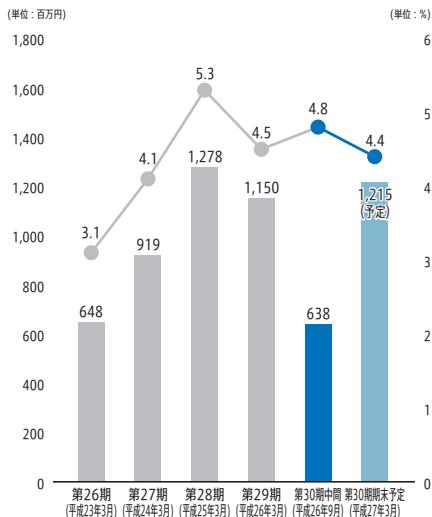
売上総利益・売上総利益率



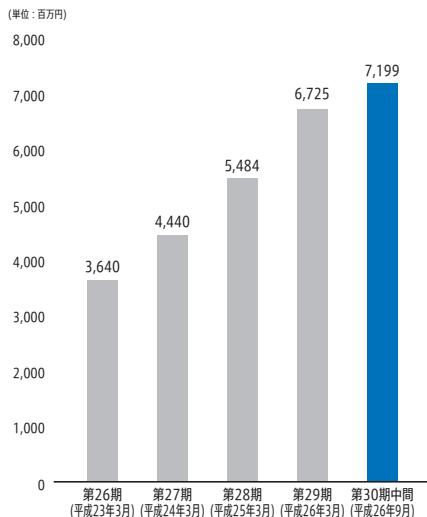
経常利益・経常利益率



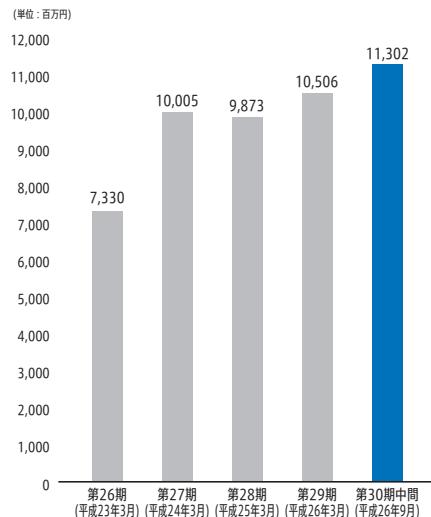
当期純利益・当期純利益率



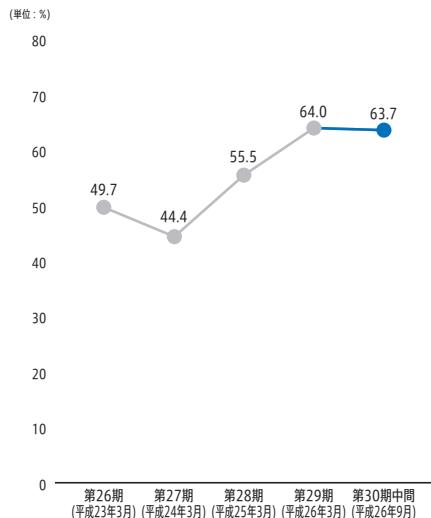
純資産額



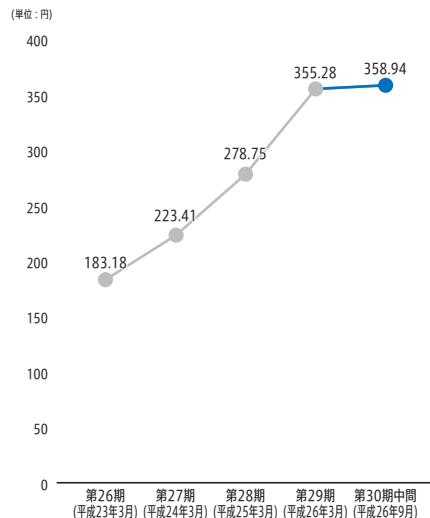
総資産額



自己資本比率

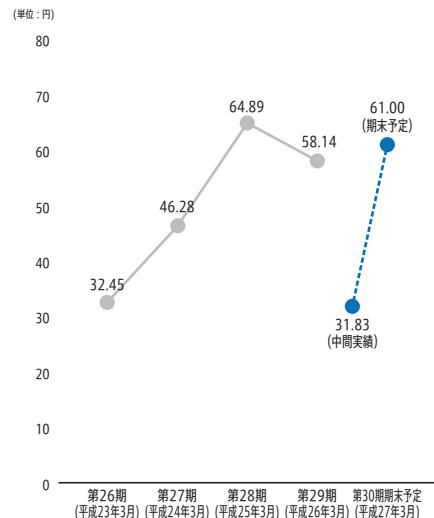


1株当たり純資産額 (BPS)



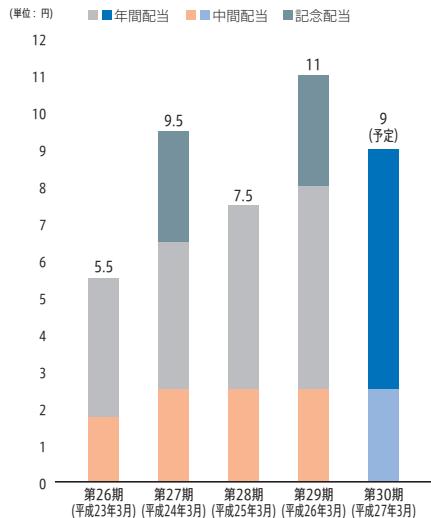
(注) 当社は、平成27年1月1日付で、普通株式1株につき、2株の割合をもって分割をする予定です。従いまして、1株当たり純資産額 (BPS) につきましては、当該株式分割が行われたと仮定して算出をしております。

1株当たり当期純利益額 (EPS)



(注) 当社は、平成27年1月1日付で、普通株式1株につき、2株の割合をもって分割をする予定です。従いまして、1株当たり当期純利益額 (EPS) につきましては、当該株式分割が行われたと仮定して算出をしております。

1株当たり配当額

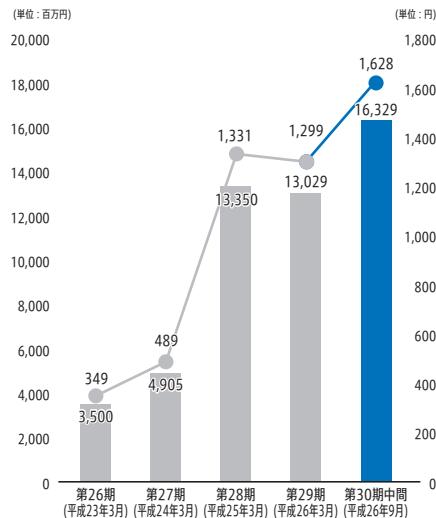


(注) 当社は、平成27年1月1日付で、普通株式1株につき、2株の割合をもって分割をする予定です。従いまして、1株当たり配当額につきましては、当該株式分割が行われたと仮定して算出をしております。

株価純資産倍率 (PBR)・株価収益率 (PER)



株式時価総額・株価



■ 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	平成26年3月期	平成26年9月期
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,820,719	3,283,748
受取手形及び売掛金	2,875,209	3,131,988
その他	604,137	642,406
貸倒引当金	△2,693	△2,220
流動資産合計	6,297,372	7,055,922
固定資産		
有形固定資産	3,381,930	3,399,013
無形固定資産	111,124	96,042
投資その他の資産	716,298	751,038
固定資産合計	4,209,354	4,246,095
資産合計	10,506,726	11,302,017
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,353,983	1,389,730
短期借入金	177,204	144,917
未払法人税等	481,923	436,098
賞与引当金	338,984	385,531
その他	870,187	1,264,455
流動負債合計	3,222,282	3,620,733
固定負債合計	559,368	481,778
負債合計	3,781,651	4,102,512
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	218,024	218,024
利益剰余金	5,504,039	5,971,969
自己株式	△481	△509
株主資本合計	6,721,582	7,189,484
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,315	11,250
為替換算調整勘定	7,861	9,804
退職給付に係る調整累計額	△12,683	△11,034
その他の包括利益累計額合計	3,492	10,020
純資産合計	6,725,075	7,199,505
負債純資産合計	10,506,726	11,302,017

■中間連結損益計算書

(単位：千円)

	平成25年9月期	平成26年9月期
売上高	12,369,598	13,400,368
売上原価	9,450,290	10,154,892
売上総利益	2,919,308	3,245,475
販売費及び一般管理費	2,080,678	2,103,465
営業利益	838,629	1,142,010
営業外収益	16,525	13,449
営業外費用	8,706	6,086
経常利益	846,448	1,149,372
特別利益	—	16,191
税金等調整前中間純利益	846,448	1,165,564
法人税、住民税及び事業税	457,736	522,409
法人税等調整額	△24,456	4,732
法人税等合計	433,280	527,142
少数株主損益調整前中間純利益	413,168	638,421
中間純利益	413,168	638,421

■中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	平成25年9月期	平成26年9月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	728,287	922,788
投資活動によるキャッシュ・フロー	△104,013	△29,585
財務活動によるキャッシュ・フロー	△297,122	△431,378
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,522	967
現金及び現金同等物の増減額	330,674	462,792
現金及び現金同等物の期首残高	1,939,089	2,815,804
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,269,763	3,278,596

決算総括

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、消費税率引き上げや、夏場の天候不順による国内消費の減少等がありましたが、政府の推進する経済対策による景気下支えや、円安による輸出企業の採算改善等により、景気は緩やかな回復傾向にあります。

国内の雇用情勢におきましては、厚生労働省が発表した平成26年9月の有効求人倍率（季節調整値）は、前月比0.01ポイント減少し、1.09倍とやや低下しております。また、総務省が発表した同月の完全失業率（季節調整値）につきましても、3.6%となっており、全体として雇用環境は横ばい傾向にあります。

このような状況のもと、当社グループの中核事業である「人材サービス事業」におきましては、新たに北海道エリアの拠点の拡充を行い、全国59拠点体制といたしました。

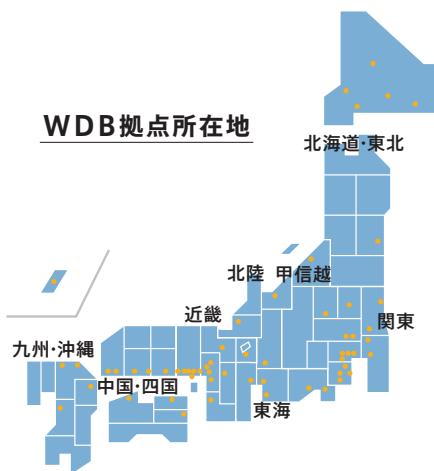
また、「研究開発・製造事業」におきましては、株式会社WDB環境バイオ研究所において、国内初となる魚類急性毒性試験に関する認証規格であるISO/IEC17025:2005を取得し、海水生物を対象とした認定試験所として、環境リスクアセスメント対策に対応できる試験サービスの提供を開始いたしました。

以上のような活動の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、化学・バイオ分野を取り扱う理学系研究職人材派遣事業が堅調に推移したため、13,400百万円と前年同期と比べ1,030百万円（前年同期比8.3%増）の増収となりました。営業利益におきましては、1,142百万円と前年同期と比べ303百万円（前年同期比36.2%増）の増益、また、経常利益は1,149百万円と前年同期と比べ302百万円（前年同期比35.8%増）の増益、四半期純利益は638百万円と前年同期と比べ225百万円（前年同期比54.5%増）の増益となりました。

人材サービス事業

●WDB株式会社

平成26年6月に東大前支店・京大担当支店・阪大担当支店、同年8月に旭川オフィス・帯広オフィス、同年9月に釧路オフィスを開設し、全国59拠点体制といたしました。



東大前支店



京大担当支店



阪大担当支店



旭川オフィス



帯広オフィス



釧路オフィス

CRO事業

- WDBアイシーオー株式会社
- 電助システムズ株式会社

医薬品の開発、臨床研究に関わる分野において、薬事申請、医薬系翻訳を強みとするWDBアイシーオー株式会社と、データマネジメント、統計解析を強みとする電助システムズ株式会社ですが、この度2社共同でプロジェクトを受注いたしました。

これからも両社の強みを活かし、CROの領域での相乗効果を発揮していきます。

グループ戦略補助事業

- WDB事業承継パートナーズ株式会社

平成26年4月に、当社グループにとって8社目のM&Aを行いました。

現在も、2021年3月期連結売上高1,000億円実現の為、グループにとってシナジー効果のある企業とのM&Aを成功させるべく、日々奮闘中です。



研究開発・製造事業

- WDB機能化学株式会社

電子材料や医薬品、化成品等の素材開発における合成実験代行への取り組みを行っています。スループット向上を目的として、松戸R&Dセンターの分析機器の拡充を順次開始しています。

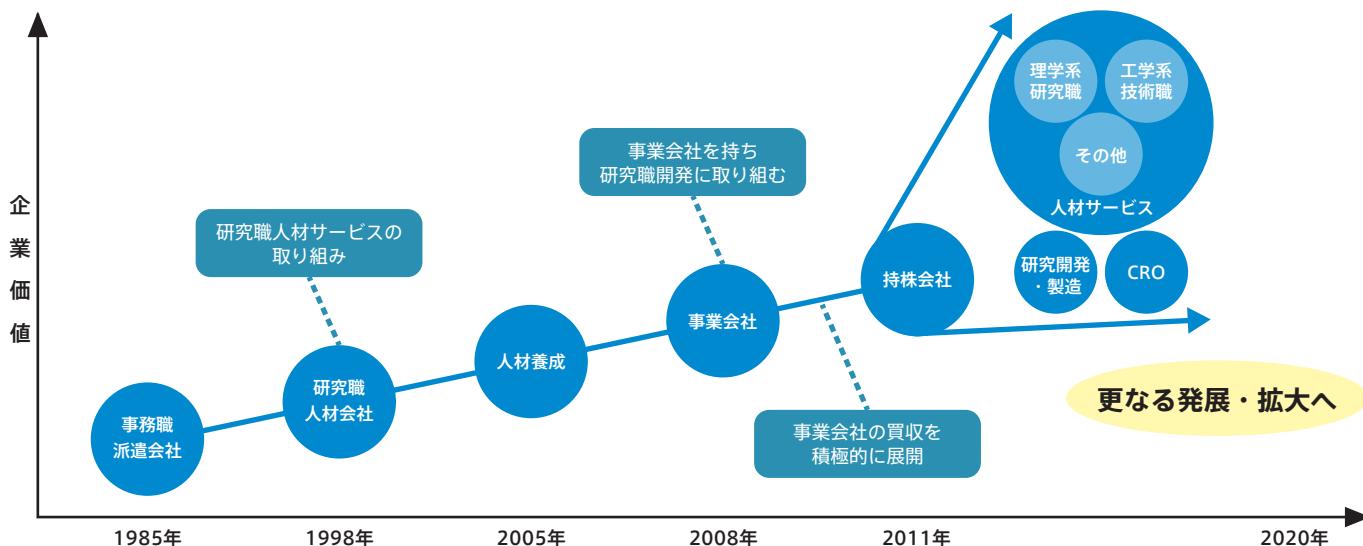
- 株式会社WDB環境バイオ研究所

海洋生物を利用した様々な生態影響試験（薬効薬理試験、安全性試験）等への取り組みなど、より付加価値を創出する事業に取り組んでおり、平成26年8月には国内初の魚類急性毒性試験に関するISO / IEC 17025:2005 認定を取得。環境リスクアセスメント試験サービスを本格化させています。

- 株式会社カケンジェネックス

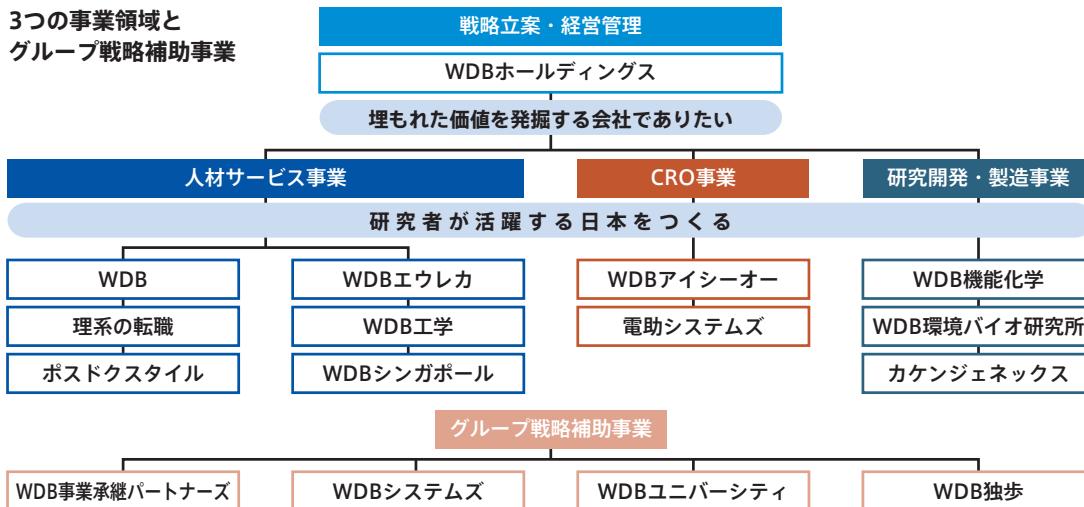
射出成形におけるガスアシスト技術を活かした装置の開発・製造事業を中核としています。当社グループの工学系領域における研究開発・製造事業並びに人材事業展開の中で、カケンジェネックスと当社グループの事業基盤を活かし、双方の事業成長につなげていきます。

事業の方向性



当社グループは、事務職の人材サービス会社から始まり、理学系研究職の人材サービスへ進化しました。そして今は、「研究者が活躍する日本をつくる」「キャリアの見通しをつける」会社へと変革の途上にあります。その根底に流れるものは、「働くこと」に真剣に向き合い、「働くこと」に起因する様々な課題を解決していきたいという使命感です。当社が、持株会社体制に移行したことや人材サービス以外の事業を持っていることも、課題解決のためです。今後、当社グループでは、理学系研究職の人材サービスを中核として、CRO事業、研究開発・製造事業等により専門性の高いサービスを提供し、競争力を一層高め、企業価値の最大化を図っていきます。

3つの事業領域と グループ戦略補助事業



人材サービス事業

**理学系研究職の人材サービスのリーディングカンパニーである
WDB株式会社を中心に、6社で人材サービス事業を行っています。**

当社グループのメイン事業である人材サービス事業は、化学・バイオ等の理学系研究職における人材派遣事業を行う「WDB」と「WDBエウレカ」、機械や電気・電子等の工学系技術職における人材派遣事業を行う「WDB工学」、そして派遣就業を卒業していく人の正社員転職エージェントとして機能する「理系の転職」、博士号を取得してもポスドクという任期付就業で将来のキャリアが不透明で不安を抱えている研究者を支援する「ポスドクスタイル」、海外での正社員転職を支援する「WDB Singapore」の6社で構成されています。

「WDB」、「WDBエウレカ」が取り扱う化学・バイオ等の理学系研究職人材派遣の市場規模は約705億円（当社推計）あり、当社グループの理学系研究職の売上高は約197億円（2014年3月期実績）、シェアは約28%を占めています。つまり、全国の化学・バイオ分野で派遣就業する人たちの約4分の1以上が当社グループからの派遣社員です。取引先は、独立行政法人、国立大学等の公的研究機関から医薬品・化学・食品メーカー等まで、全国約1,400社にのぼります。

一方、「WDB工学」が取り扱う機械や電気・電子等の工学系技術職の市場規模は約1兆円あると言われています。その中で大手といわれる会社は2社あり、その2社の売上を合計しても約1,000億円、シェアは2社合計で10%でしかありません。当社グループは、理学系研究職派遣で培ったノウハウをもとに、この工学系技術職の市場に進出していきます。そのために、「WDB工学」を2012年12月に設立しました。2014年4月に第1期の社員が就業したばかりですので、まだまだ売上規模は小さいですが、将来的には大きく伸ばす計画です。

人材サービス事業では、今後も専門性の高い分野である理学系、工学系に特化し、事業を拡大させ、2021年3月期には、売上高850億円を目指しています。



CRO事業

医薬品・医薬部外品・化粧品等の臨床試験以降における 開発業務を代行・支援しています。

WDBグループの中で、医薬品・医薬部外品・化粧品等の臨床試験以降における開発業務を代行・支援するのがCRO（Contract Research Organization＝医薬品開発業務受託機関）事業です。お客様は、WDBグループの人材調達能力を活かして迅速に組織体制を作り上げることができ、人材派遣または業務委託という選択肢を活用することにより柔軟な組織体制を作ることができます。同時に、スタッフが蓄積したノウハウは、サービスの新たな価値となってお客様に還元されます。

研究開発・製造事業

機能性材料の試作・製造代行サービスや海洋生物に特化した生態影響試験の 受託サービス、プラスチック成形関連装置等の開発・製造を行っています。

研究開発・製造事業において、WDB機能化学は「電子材料、医薬品、化粧品等の素材開発における実験・製造代行サービス」、WDB環境バイオ研究所は「海洋生物に特化した生態影響試験の受託サービス及び生産販売」、カケンジェネックスは「ガスインジェクション装置・窒素発生装置等の装置やバイオ関連機器の開発・製造」を行っています。この事業を通じて、WDBグループに在籍している優秀な研究職人材の能力を発揮できる環境をつくり、高度なスキルを持つ技術者を育成することで高い成果を出し、それを顧客企業に還元していくことで、付加価値の高いサービスを提供します。

グループ戦略補助事業

WDBグループの各事業の競争力アップをサポート。 すべての事業における効率性の追求を実現しています。

WDBグループでは多様な事業を分社化することにより、人材サービス事業、CRO事業、研究開発・製造事業の競争力アップをサポートし、すべての事業における効率性の追求を実現しています。

WDB事業承継パートナーズでは、開発・製造事業へと転換するWDBグループのためのM&Aの他、医薬・化学・食品分野の企業様とのネットワークを生かしたM&Aを支援します。

TOPICS.1

平成27年1月1日付で、当社株式を分割致します

当社は、平成26年12月31日（実質基準日/平成26年12月30日）を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主が所有する普通株式を、平成27年1月1日付で1株につき2株の割合をもって分割いたします。

投資単位当たりの金額を引き下げることにより、株主、投資家の皆様がより一層投資しやすい環境を整え、当社株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としています。

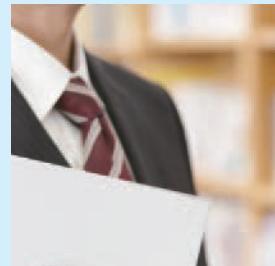


TOPICS.2

連結子会社の代表取締役の異動を致しました

当社は、現在連結子会社15社から構成されておりますが、その中の11社について、代表取締役の異動を致しました。新たに就任した代表取締役のメンバーは、それぞれの子会社において現場で活躍をしてきた人材となります。

現場経験豊富な人材を代表取締役に登用し、権限を委譲することで、より機動的な経営および意思決定の迅速化を図り、経営環境の変化に対応できる経営体制の構築を目指しています。



WDBホールディングス株式会社

会社概要 (平成26年11月1日現在)

社名	WDBホールディングス株式会社
設立	1985年(昭和60年)7月6日
資本金	10億円
上場市場	東京証券取引所市場第一部(証券コード2475)
本社	〒670-0964 兵庫県姫路市豊沢町79番地 TEL 079-287-0111(代) FAX 079-287-0112
東京本社	〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-3-2 郵船ビルディング2F TEL 03-5221-8111(代) FAX 03-3211-7711
グループ会社	15社
URL	http://www.wdbhd.co.jp
社員	682名(連結・契約社員含む)
事業内容	持株会社として、グループ会社の経営管理 埋もれた価値を発掘していく会社として、人材サービス、CRO、 研究開発・製造の3つの分野で既存事業の運営と新しい価値を 産み出す事業の発掘と育成を行います。

役員 (平成26年11月1日現在)

代表者	代表取締役社長	中野 敏光
役員	専務取締役	大塚 美樹
	取締役	中岡 欣也
	社外取締役	黒田 清行
	社外取締役	木村 裕史
	監査役	鵜飼 茂一
	社外監査役	濱田 聡
	社外監査役	有田 知徳

グループ会社 会社概要 (平成26年11月1日現在)

■人材サービス事業

WDB株式会社

バイオ・化学の研究開発業務における人材派遣・人材紹介サービス

代表者	代表取締役社長 中野 敏光
本社	〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-3-2 郵船ビルディング2F TEL 03-6860-7111(代) FAX 03-3287-0050
拠点	支店59拠点、研究所・研修所5拠点
許可	一般労働者派遣事業 般13-305001 有料職業紹介事業 13-ユ-305209

WDBエウレカ株式会社

バイオ・化学の研究開発業務における特定派遣サービス

代表者	代表取締役社長 大塚 美樹
本社	〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-3-2 郵船ビルディング2F TEL 03-6212-8811(代) FAX 03-3211-7755
拠点	グループ支店59拠点
届出受理	特定労働者派遣事業 特13-300414
許可	有料職業紹介事業 13-ユ-303631

理系の転職株式会社

理系分野における人材紹介サービス

代表者	代表取締役社長 葛原 武典
本社	〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町6-3-3 TEL 078-304-6300(代) FAX 078-304-6133
拠点	東京、神戸
許可	一般労働者派遣事業 般28-300659 有料職業紹介事業 28-ユ-300435

ポスドクスタイル株式会社

ポスドクの人材紹介サービス

代表者	代表取締役社長 葛原 武典
本社	〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-3-2 郵船ビルディング2F TEL 03-5222-7288(代) FAX 03-3211-7755
拠点	東京
許可	有料職業紹介事業 13-ユ-305447

WDB Singapore Pte. Ltd.

シンガポールにおけるバイオ・化学の研究開発・技術分野の人材紹介サービス

代表者	Director 西田 尚徳
本社	30 Raffles Place, Chevron House #17-32, Singapore 048622 TEL +65-6809-6235 FAX +65-6809-6238

WDB工学株式会社

工学系研究職・技術職人材の特定派遣サービス

代表者	代表取締役社長 橋原 佳大
本社	〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-3-2 郵船ビルディング2F TEL 03-5220-1161(代) FAX 03-3211-7755
拠点	東京、グループ支店59拠点
届出受理	特定労働者派遣事業 特13-316276

■CRO事業

WDBアイシーオー株式会社

医薬品開発・医療に関わる翻訳・メディカルライティング・安全性情報管理支援

代表者	代表取締役社長 谷口 晴彦
本社	〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル6F TEL 03-6895-5120(代) FAX 03-6895-5118
許可	一般労働者派遣事業 般13-304710

電助システムズ株式会社

医薬品開発・臨床研究等に関わるデータマネジメント・統計解析業務及びシステム開発

代表者 代表取締役社長 今村 敦
 本 社 〒101-0047 東京都千代田区内神田3-2-8 いちご内神田ビル9F
 TEL 03-6840-5911(代) FAX 03-6840-4790
 届出受理 特定労働者派遣事業 特13-011531

■研究開発・製造事業**WDB機能化学株式会社**

電子材料、医薬品、化粧品等の素材開発における実験・製造代行サービス

代表者 代表取締役社長 甲角 幸秀
 本 社 〒340-0121 埼玉県幸手市上吉羽1870-16
 TEL 0480-48-0512(代) FAX 0480-48-0517
 事業所 幸手工場、松戸R&Dセンター

株式会社WDB環境バイオ研究所

海洋生物に特化した生態影響試験の受託サービス及び生産販売

代表者 代表取締役社長 中村 智治
 本 社 〒779-2307 徳島県海部郡美波町山河内字外ノ牟井1-6
 TEL 0884-77-1117(代) FAX 0884-77-1119

株式会社カケンジェネックス

ガスインジェクション装置・窒素発生装置等の装置やバイオ関連機器の開発・製造

代表者 代表取締役社長 佐々浦 一志
 本 社 〒270-2214 千葉県松戸市松飛台439-1
 TEL 047-383-8300(代) FAX 047-383-8301

■グループ戦略補助事業**WDB事業承継パートナーズ株式会社【M&A】**

医薬・化学・食品分野のM&A支援

代表者 代表取締役社長 ニノ方 規史
 本 社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-3-2 郵船ビルディング2F
 TEL 03-3211-1511(代) FAX 03-3287-0050

WDBシステムズ株式会社【ITサービス】

WDBグループの戦略的情報システムの構築とITインフラの提供

代表者 代表取締役社長 山根 直樹
 本 社 〒670-0964 兵庫県姫路市豊沢町79番地
 TEL 079-287-0171(代) FAX 079-287-0172

WDBユニバーシティ株式会社【教育機関】

研究職人材のマネジメント能力と総合力の向上のための教育機関

代表者 代表取締役社長 大塚 美樹
 本 社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-3-2 郵船ビルディング2F
 TEL 03-5222-7577(代) FAX 03-3211-7755

WDB独歩株式会社【障がい者雇用促進】

データ入力処理、清掃業務等を通じた障がい者雇用促進

代表者 取締役社長 奥田 広宣
 本 社 〒670-0964 兵庫県姫路市豊沢町79番地
 TEL 079-283-1771(代) FAX 079-283-5188

株主構成 (平成26年9月30日現在)

- 発行可能株式総数／40,120,000株
- 発行済株式総数／10,030,000株
- 株主数／2,219名

大株主（上位10名）

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
株式会社中野商店	3,855,000	38.43
中野 敏光	1,474,800	14.70
谷岡 たま系	554,000	5.52
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社（信託口）	373,900	3.72
MSIP CLIENT SECURITIES	362,300	3.61
大塚 美樹	240,000	2.39
WDBグループ従業員持株会	232,800	2.32
日本生命保険相互会社	200,000	1.99
BNY GCM CLIENT ACCOUNT J PRD AC ISG (FE-AC)	171,901	1.71
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社（信託口）	123,900	1.23
計	7,588,601	75.66

※持株比率は自己株式（1,095株）を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
配当金受領株主確定日	毎年3月31日および中間配当金の支払いを行うときは9月30日
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社（東京都千代田区丸の内1丁目4番1号）
同事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部（大阪市中央区北浜4丁目5番33号）
郵便物送付先 （電話照会先）	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-782-031 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する。
上場証券取引市場	東京証券取引所市場第一部
証券コード	2475



ホームページご紹介

当社ホームページでは、最新のニュースやIR情報等
当社をご理解いただくための様々な情報を提供しています。



こちらから当社IRサイトをご覧ください。 <http://www.wdbhd.co.jp>

WDBホールディングス株式会社

問合せ先/WDBホールディングス株式会社 経営企画室
〒670-0964 兵庫県姫路市豊沢町79番地
TEL 079-287-1855(直通)

■本社/〒670-0964 兵庫県姫路市豊沢町79番地
TEL 079-287-0111(代)

■東京本社/〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-3-2 郵船ビルディング2F
TEL 03-5221-8111(代)